

2019年3月期 第3四半期

決算説明会資料

株式会社 F U J I



目次

- 当社の概要
- 第3四半期決算の概要
- 2019年3月期 業績予想

当社の概要

会社情報

設立	1959年4月7日
資本金	58.78億円 (2018年3月)
従業員数	2,229人 (2018年3月)
売上高	1,200億円 (2018年3月)
営業利益	228億円 (2018年3月)
経常利益	235億円 (2018年3月)
主要製品	電子部品実装ロボット 工作機械



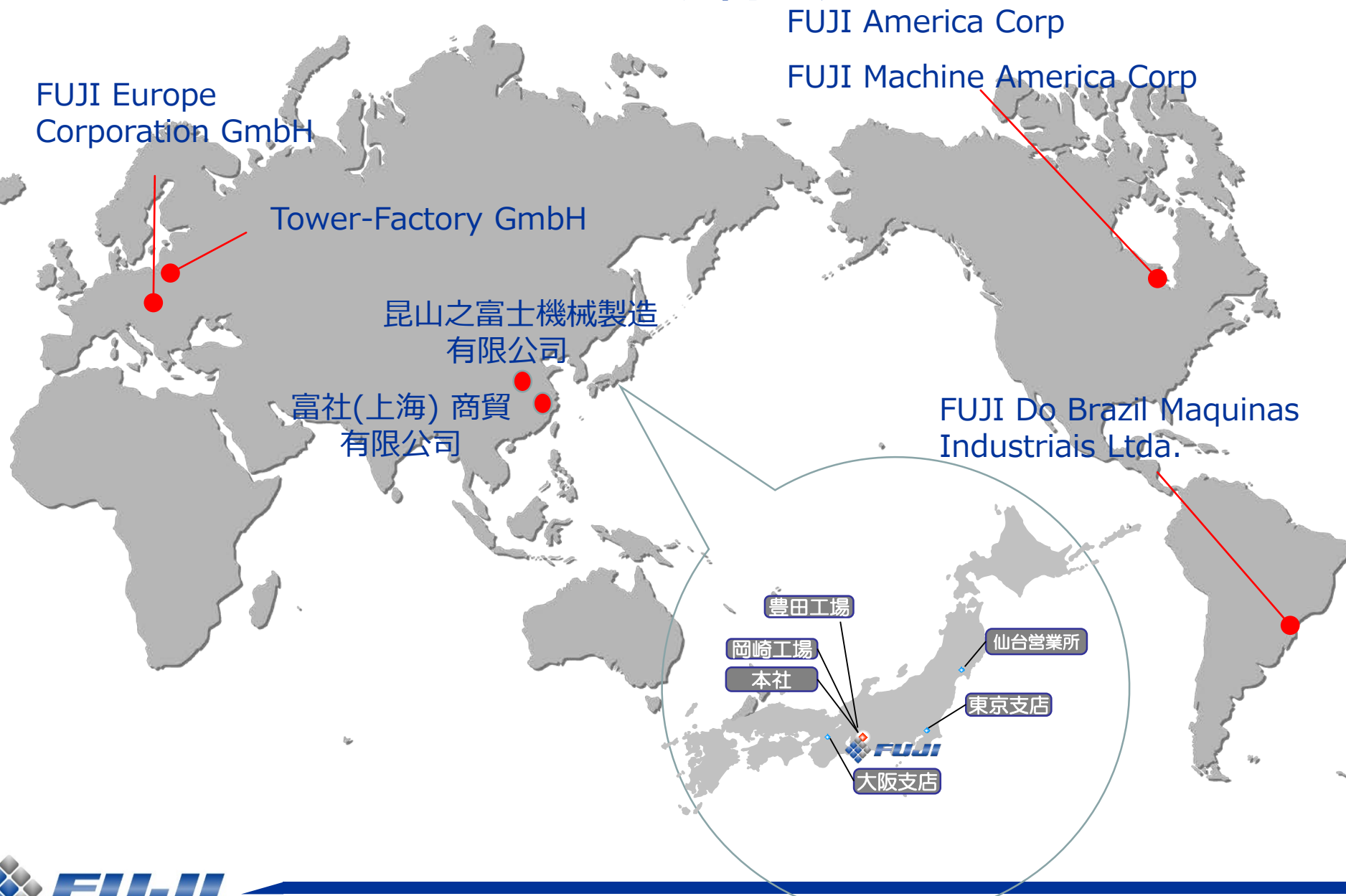
本社外観 (愛知県知立市)

海外拠点： アメリカ、ドイツ、中国、ブラジル他

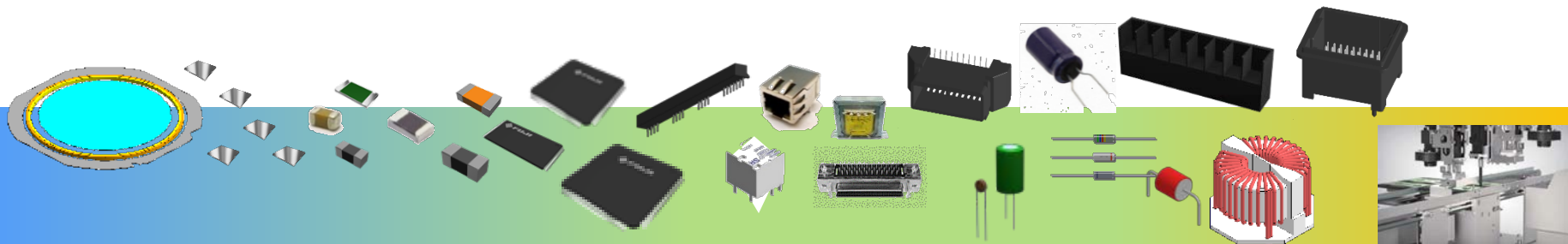
主な沿革

1959年	名古屋市中川区昭和橋において富士機械製造株式会社を設立
1970年	米国現地法人フジ アメリカ コーポレイション設立（現連結子会社）
1971年	NC自動旋盤完成
1978年	電子部品自動挿入機 BA完成
2003年	モジュール型高速多機能装着機 NXT完成
2010年	超高密度 大気圧プラズマユニット Tough Plasma完成
2013年	東京証券取引所市場第一部上場
	モジュール型生産設備 DLFn 旋盤モジュール完成
2014年	中国・昆山工場操業開始
2016年	パブリックストックカシステム Quist完成
	移乗サポートロボット Hug完成
	複合施設 THANKオープン
2017年	小型多関節ロボット SmartWing完成
2018年	「富士機械製造株式会社」から「株式会社FUJI」へ社名変更
	ファスフォードテクノロジー社を完全子会社化

国内・海外拠点



ロボットソリューション事業



Die

SMD

挿入部品

組立



NXT-III NXT III Fuji Scalable Placement Platform AIMEX III AIMEX C sFAB-α sFAB-D SmartWing

印刷関連

プラズマ関連 物流・Eコマース関連 介護業界

スマートファクトリーを実現するキーシステム

Nexim



GPX-C Tough Plasma

Quist

Hug 移動サービスロボット



NXT III

Fuji Scalable Placement Platform



小型多関節ロボット SmartWing

座標補正技術・画像処理技術の活用で
ティーチングフリーを実現

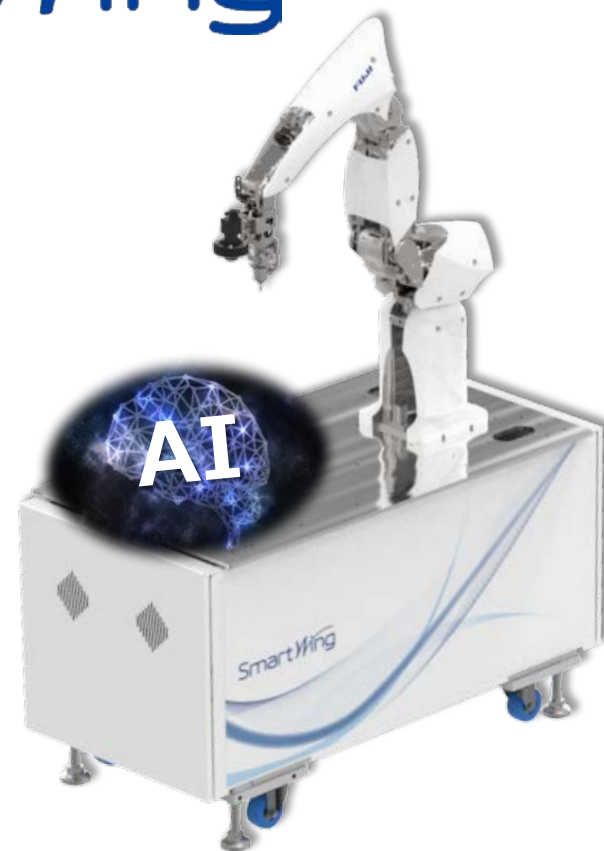
AIでさらに「立上げ簡単」へ

[1st step]

ワーク自動認識

[2nd step ~]

- ・ 把持位置の自動推定
- ・ 動作の自動生成



日本屈指のデータサイエンスカンパニー
株式会社アルベルトと共同開発

Albert
Analytical technology

大気圧プラズマユニット

Tough Plasma FPF20-GM

- ◆世界最高レベルの表面改質
大気圧プラズマユニット



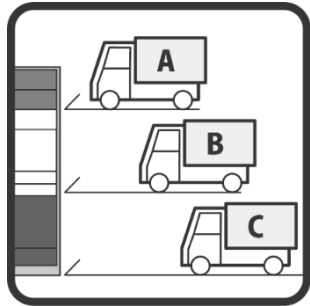
C-Touch & Display Shenzhen 2018
(2018/11/22~24 会場：深圳会展中心)

移乗サポートロボット



The Gerontech and Innovation Expo cum Summit 2018 (GIES2018)
(2018/11/22~25 会場 : Hong Kong Convention & Exhibition Centre)

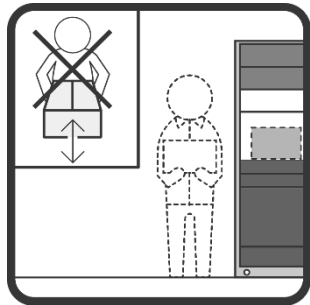
パブリックストックカシシステム **Qui**st



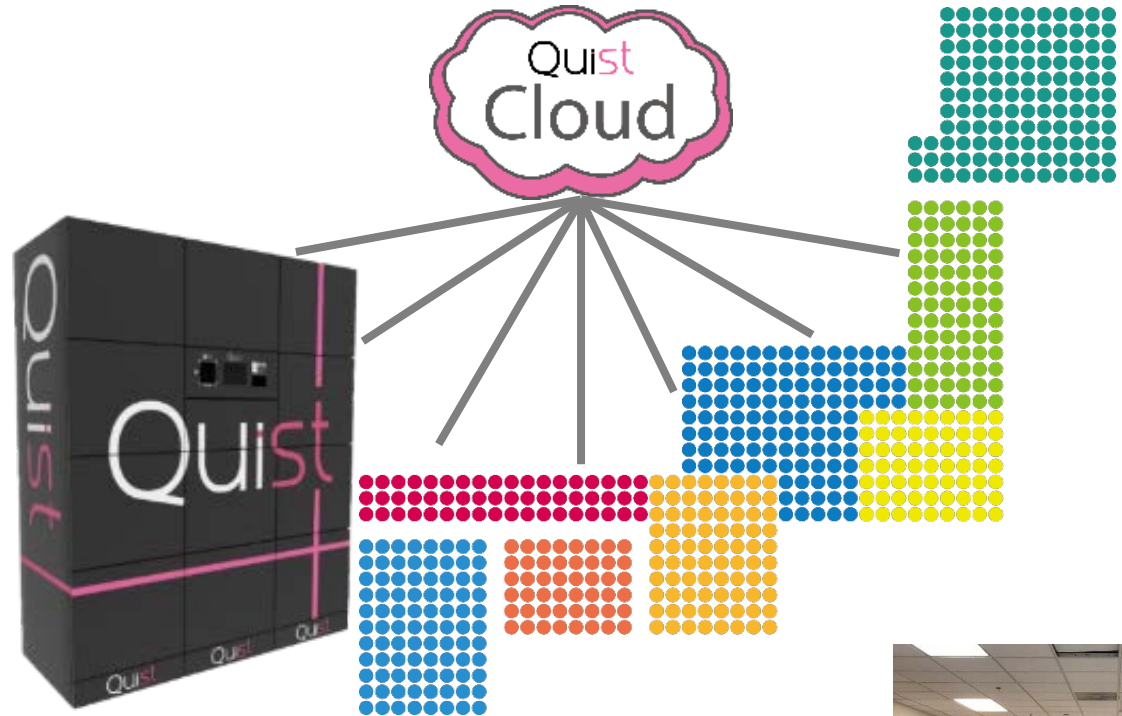
マルチキャリア



マルチユース



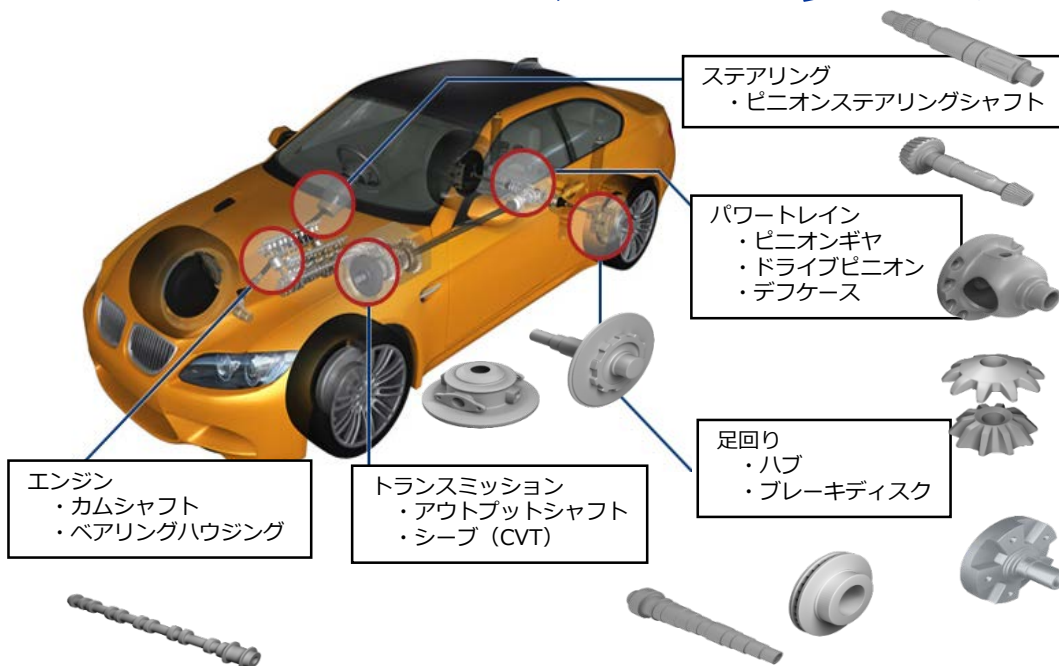
ゼロオペ



- ◆ 大手物流キャリア2社とのシステム連携を可能に
- ◆ 環境省・CO2排出削減（再配達削減）事業に参画
- ◆ 業界トップレベルの防塵・防水性能を実現（IP54）
- ◆ 2019年1月より、米シリコンバレーにて自動運転を手掛けるスタートアップ企業との実証実験をスタート



マシンツール事業



正面2スピンドル旋盤
CSシリーズ



モジュール型生産設備

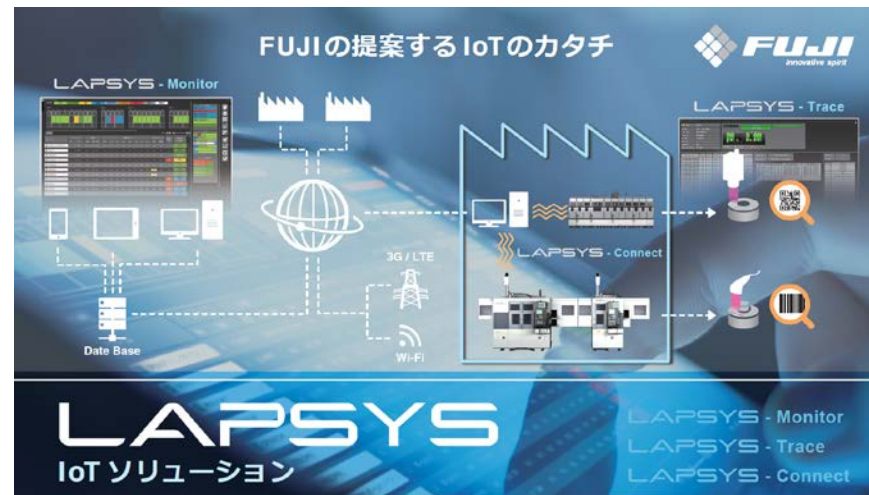
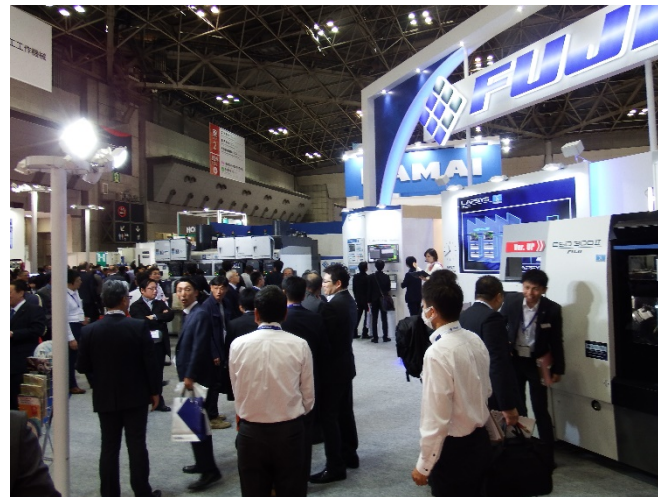
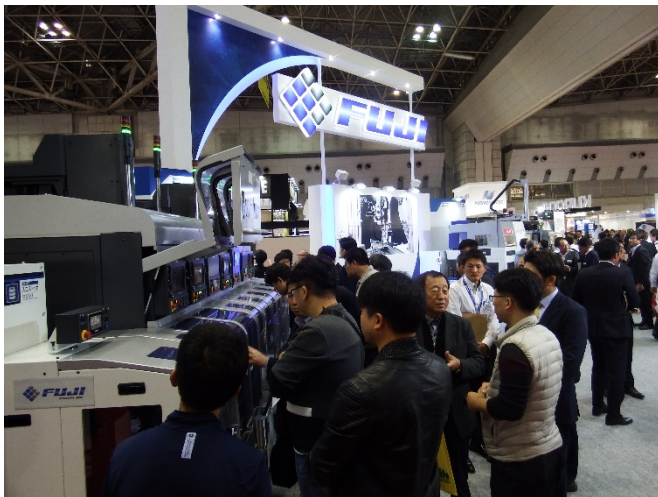
DLFN



横型NC旋盤

TNシリーズ





『JIMTOF2018（第29回日本工作機械見本市）』

2018年11月1日～11月6日@東京ビッグサイト

CSR



第3四半期決算の概要

注：ロボットソリューション事業におきまして、2018年8月に株式を取得し子会社としたファスフォードテクノロジ株式会社を当第3四半期より連結業績に含めております。なお、連結予想の受注残高につきましては、同社の連結開始時の受注残高を2018年3月期通期実績より遡及修正して含めております。

第3四半期 決算のポイント

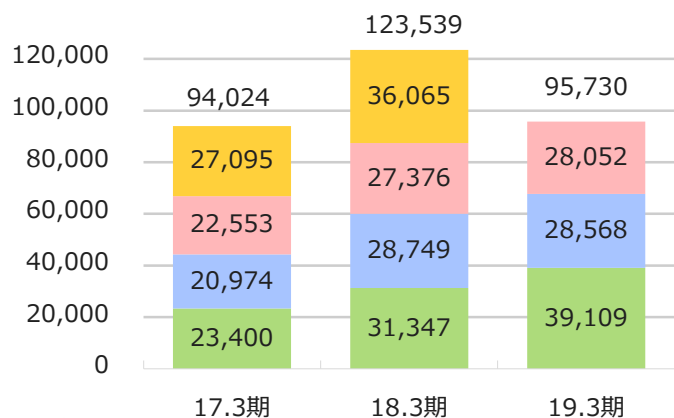
- 売上高はロボットソリューション事業、マシンツール事業共に前年同期比増収。
- 営業利益についても両事業部とも増益。
- ロボットソリューション事業： 中国における設備投資には慎重な姿勢が見られた一方、台湾・インド等での通信機器やインフラ設備需要が伸長。サーバー、自動車関連、産業用機器向け需要も継続的に推移。
- マシンツール事業： 日本国内、中国および東南アジアにおいて自動車関連向けを中心とする底堅い需要が推移。

2019年3月期 第3四半期 業績

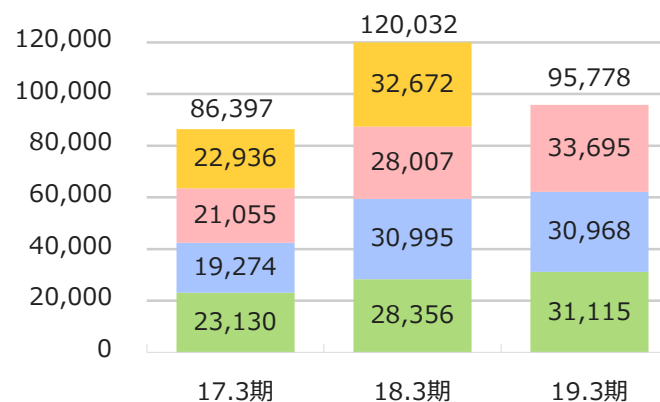
(百万円)

	18.3期 Q3 累計実績	19.3期 Q3 累計実績	対前年同期	
			額	率
受注高	87,473	95,730	+8,256	+9.4%
売上高	87,360	95,778	+8,418	+9.6%
営業利益	16,005	17,785	+1,780	+11.1%
経常利益	16,778	18,363	+1,584	+9.4%
当期純利益	12,643	13,309	+665	+5.3%

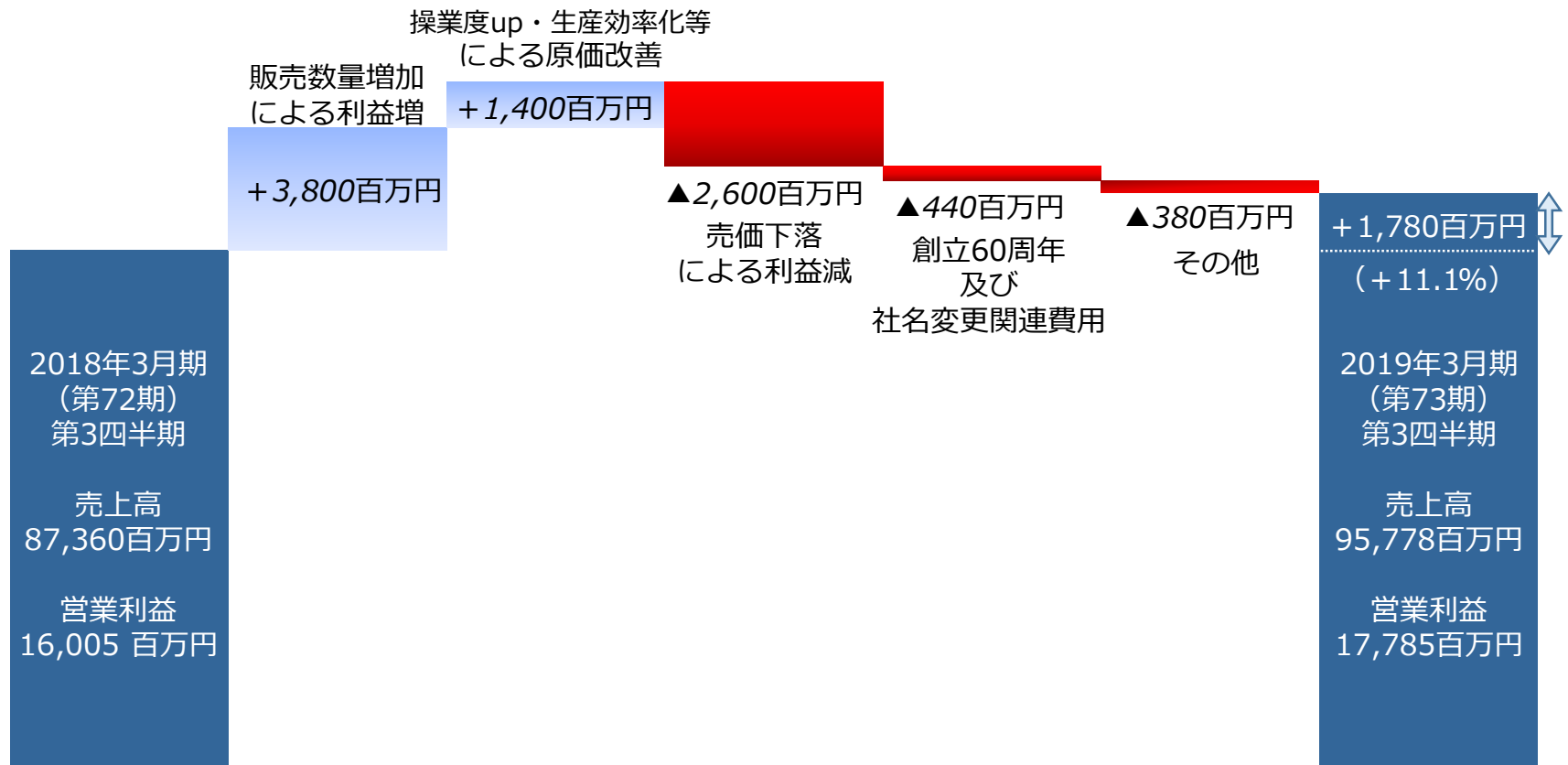
受注高



売上高



営業利益増減分析

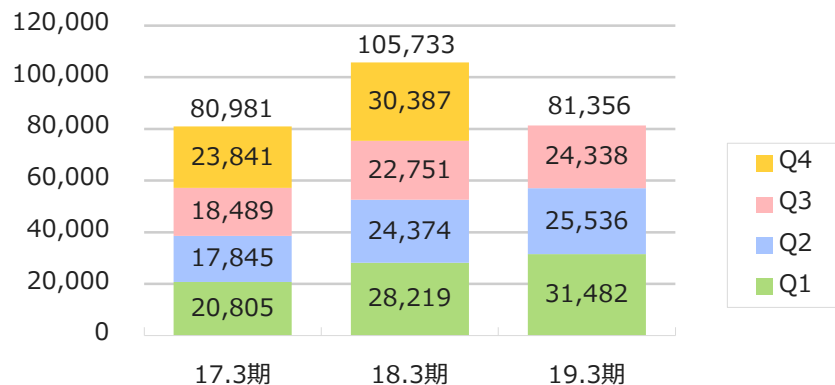


ロボットソリューション事業 業績

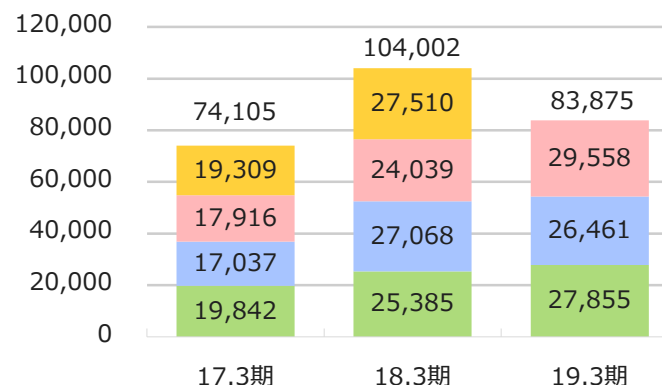
(百万円)

	18.3期 Q3 累計実績	19.3期 Q3 累計実績	対前年同期	
			額	率
受注高	75,345	81,356	+6,010	+8.0%
売上高	76,492	83,875	+7,382	+9.6%
営業利益	18,260	19,719	+1,458	+8.0%
受注残高	15,040	22,100	+7,059	+46.9%

受注高

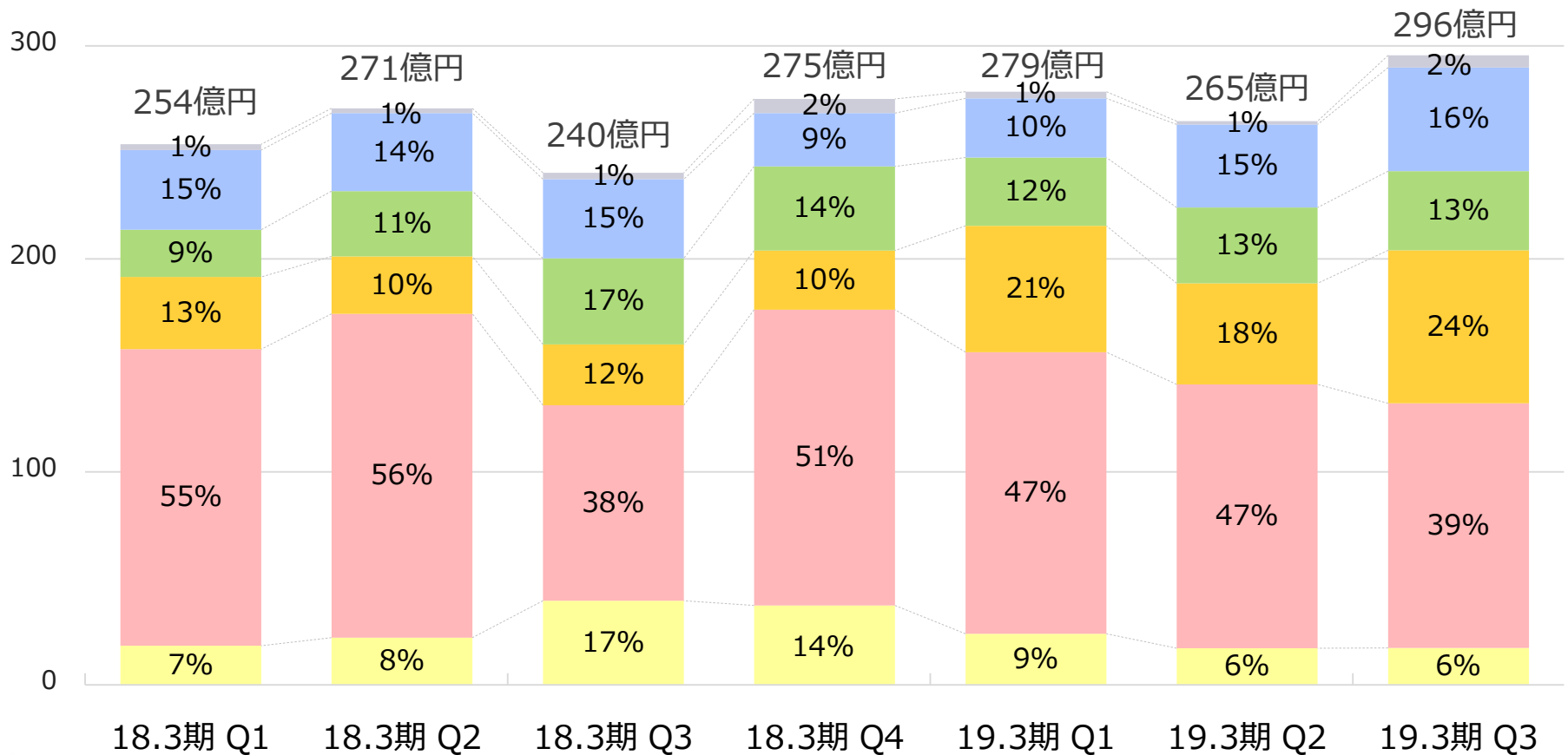


売上高



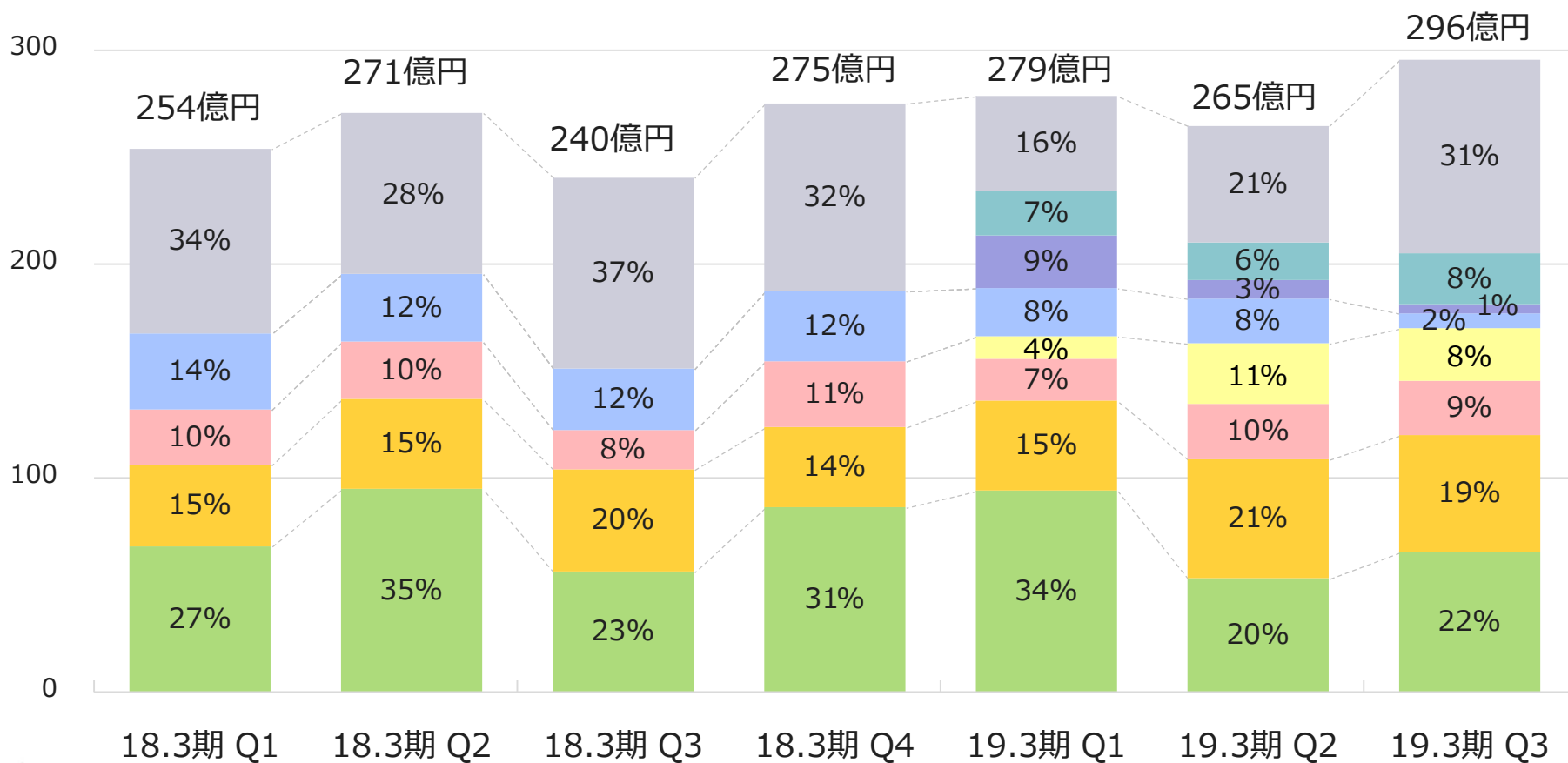
ロボットソリューション事業 地域別売上高

国内 中国 中国除くアジア ヨーロッパ 北アメリカ その他



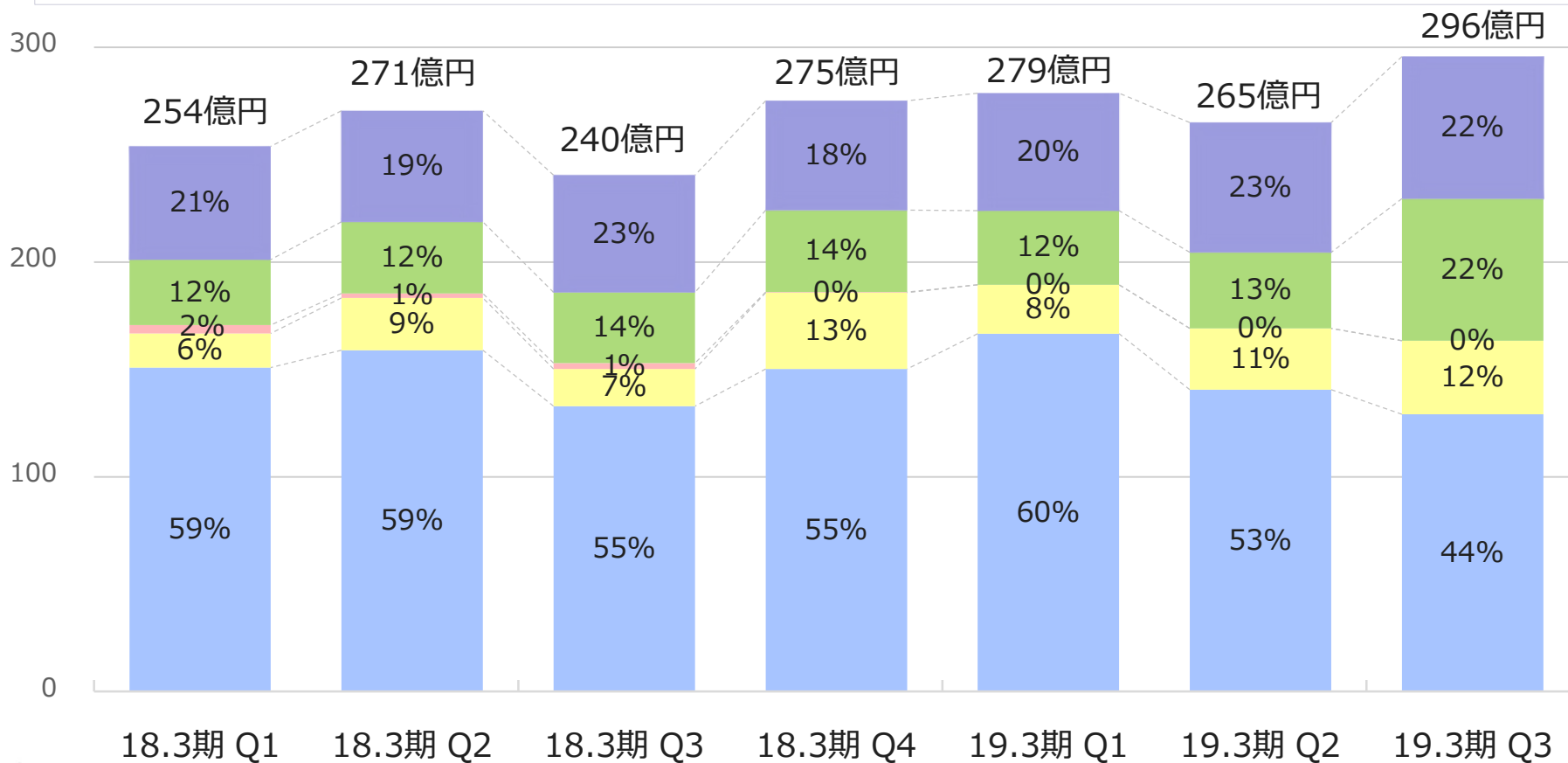
ロボットソリューション事業 業種別売上高

■ 通信 ■ 車載 ■ コンピュータ ■ サーバー ■ 家電 ■ モジュール部品 ■ 産業機械 ■ その他



ロボットソリューション事業 機種別売上高

■ 高速装着機 (NXTシリーズ)
 ■ 汎用装着機 (AIMEXシリーズ)
 ■ 中速機 (XPFシリーズ)
 ■ 印刷機及び周辺機器
 ■ 部品・改造・修理

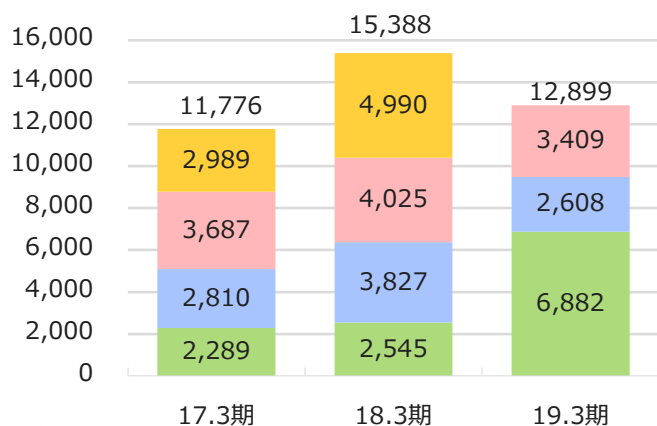


マシンツール事業 業績

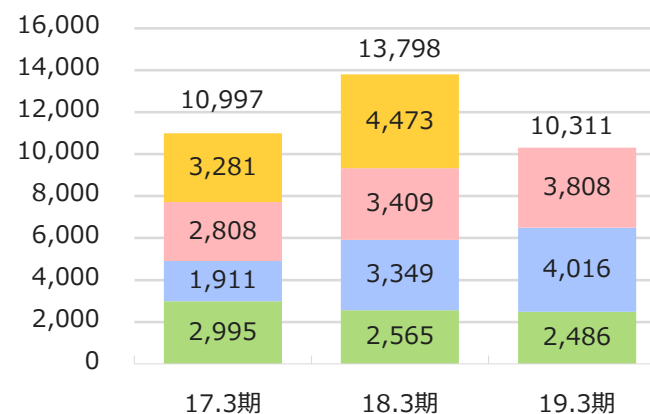
(百万円)

	18.3期 Q3 累計実績	19.3期 Q3 累計実績	対前年同期	
			額	率
受注高	10,398	12,899	+2,501	+24.1%
売上高	9,324	10,311	+986	+10.6%
営業利益	305	841	+536	+175.8%
受注残高	8,727	11,833	+3,105	+35.6%

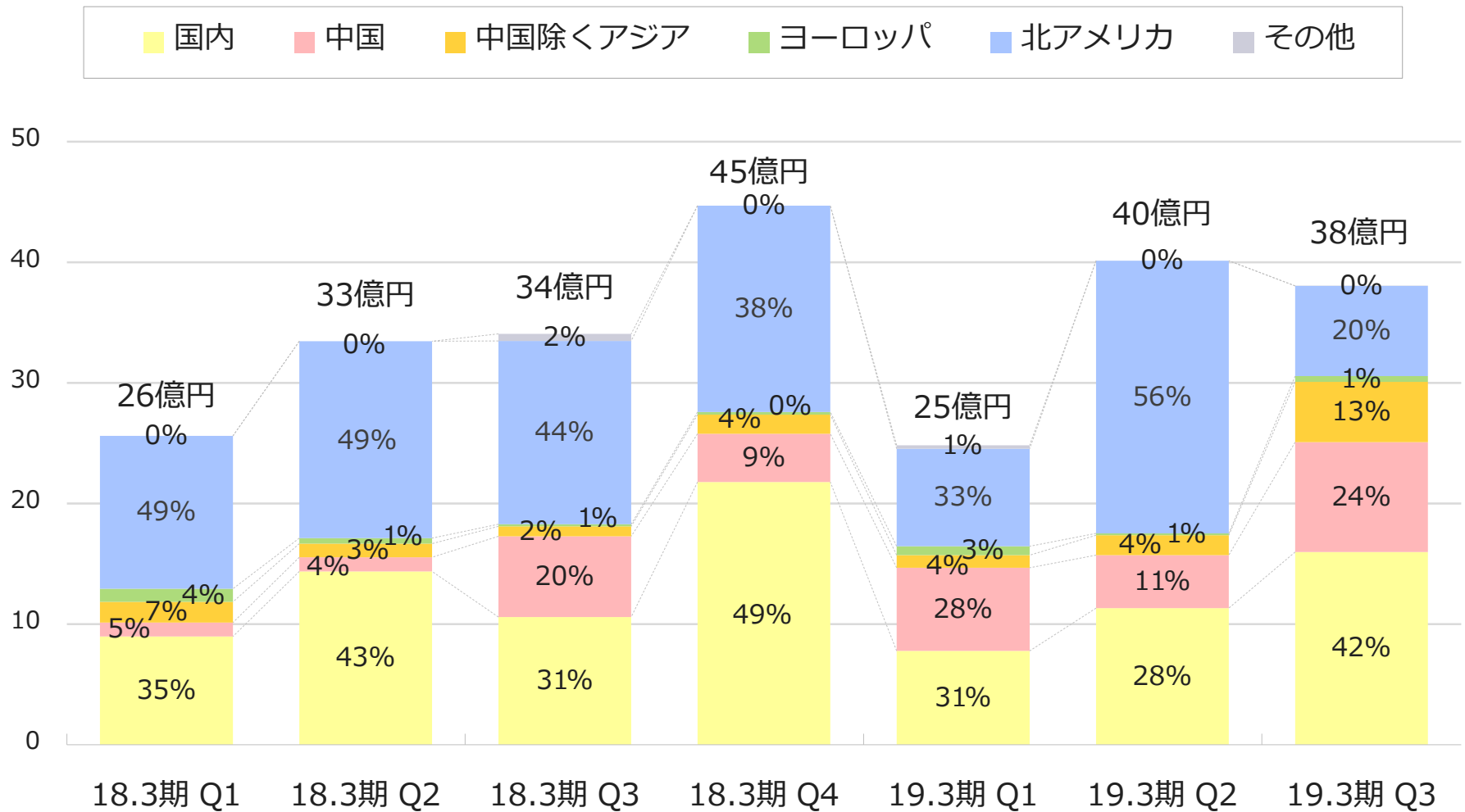
受注高



売上高

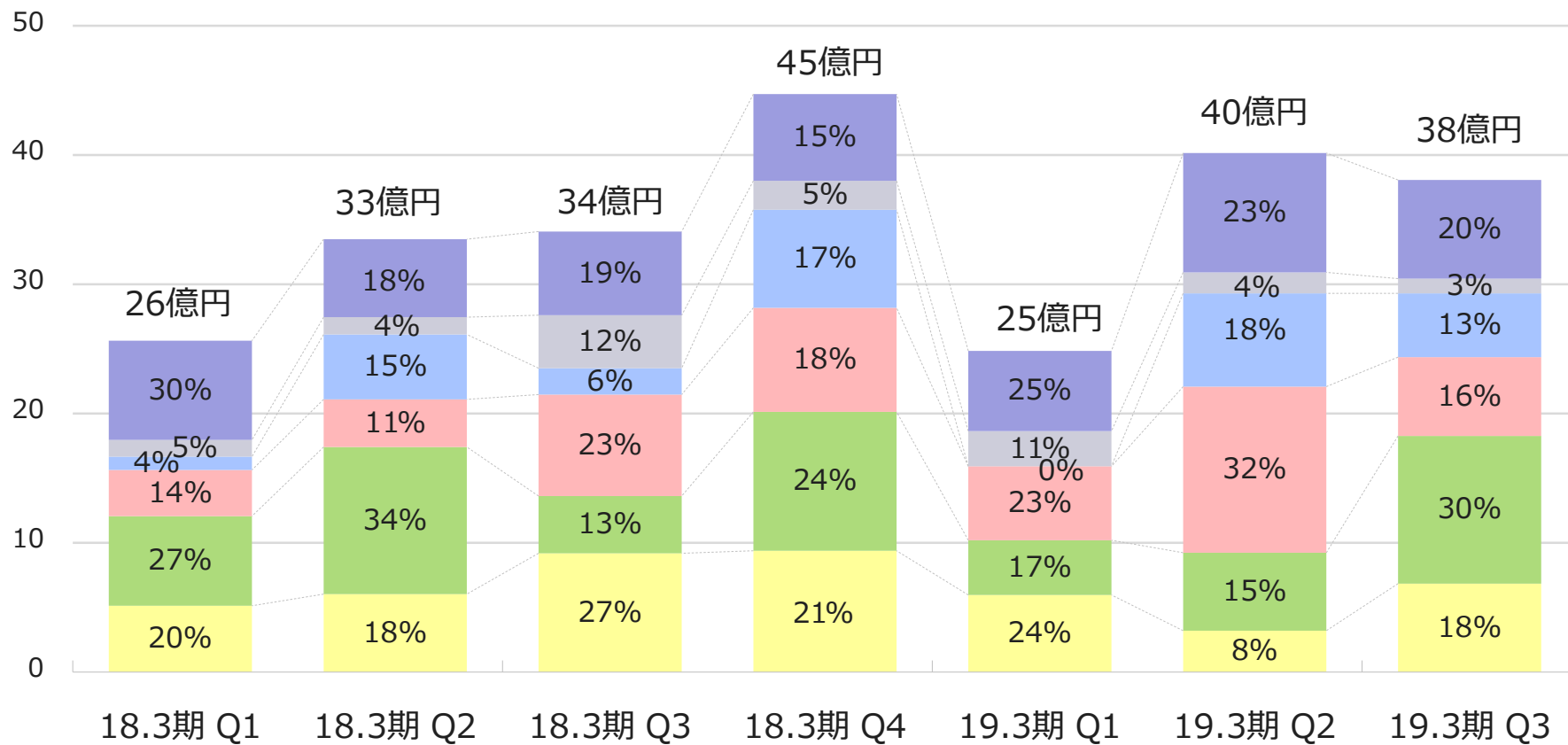


マシンツール事業 地域別売上高



マシンツール事業 機種別売上高

■ ANシリーズ
 ■ TNシリーズ
 ■ CSシリーズ
 ■ DLFn
 ■ その他
 ■ 部品・改造・修理



2019年3月期 業績予想

連結業績予想

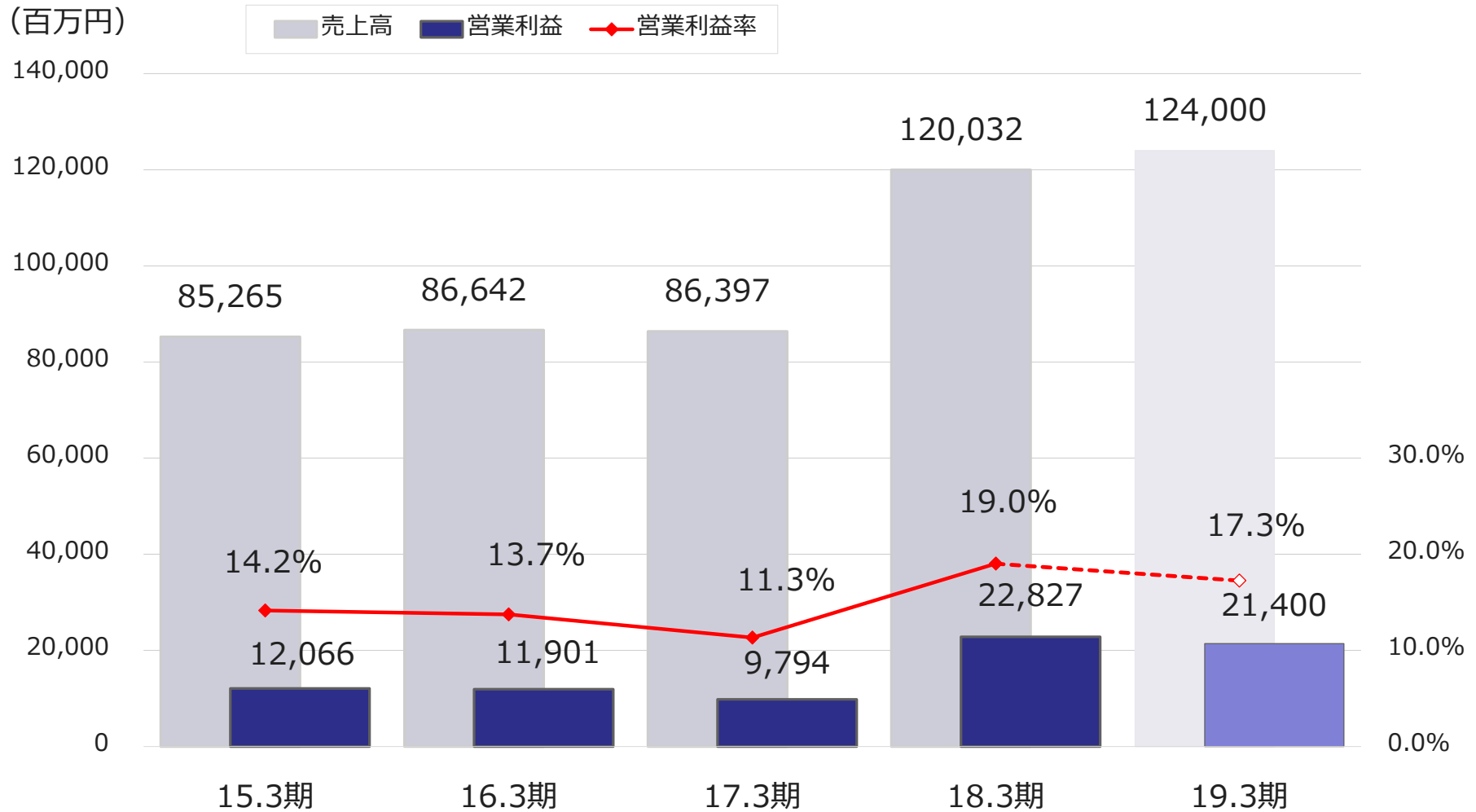
・ 2018年11月8日公表の従来予想からの変更なし

(百万円)

	18.3期 通期実績	19.3期通期予想		
		対前年同期実績比		
		額	率	
受注高	123,539	125,000	+1,460	+1.2%
売上高	120,032	124,000	+3,967	+3.3%
営業利益	22,827	21,400	▲1,427	▲6.3%
営業利益率	19.0%	17.3%	-	-
経常利益	23,538	22,000	▲1,538	▲6.5%
当期純利益	17,523	15,800	▲1,723	▲9.8%

連結売上高・営業利益

(百万円)



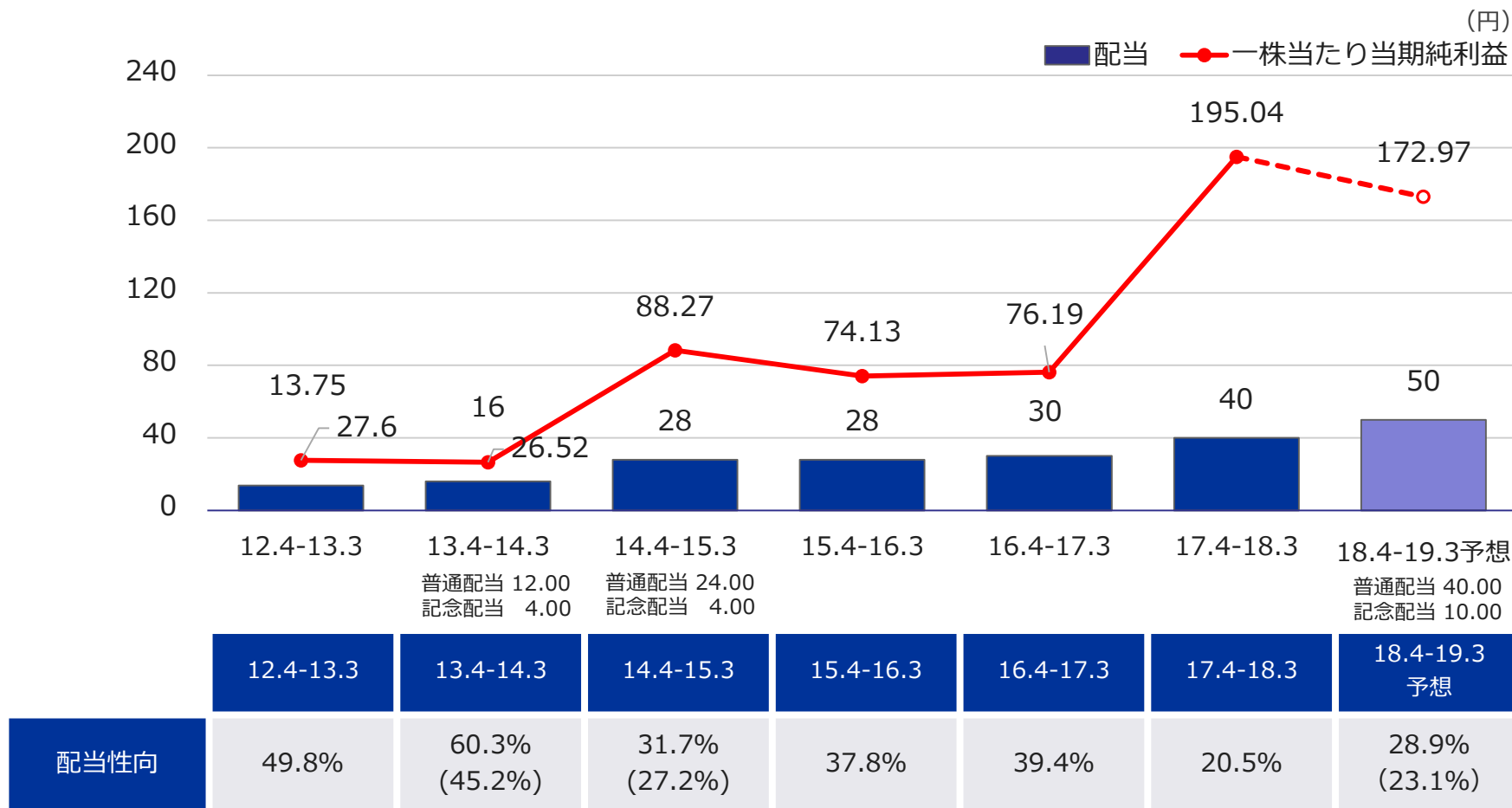
セグメント受注・売上予想

・ 2018年11月8日公表の従来予想からの変更なし

(百万円)

		18.3期 通期実績	19.3期通期予想		
			対前年同期実績比		
			額	率	
RS 事業	受注高	105,733	108,000	+2,266	+2.1%
	売上高	104,002	108,000	+3,997	+3.8%
	受注残	24,619	24,619	±0	-
MT 事業	受注高	15,388	15,000	▲388	▲2.5%
	売上高	13,798	14,000	+202	+1.5%
	受注残	9,244	10,244	+1,000	+10.8%
その他 事業	受注高	2,417	2,000	▲417	▲17.3%
	売上高	2,231	2,000	▲231	▲10.4%
	受注残	322	322	±0	-

1株当たり当期純利益・1株当たり年間配当金



注:2013年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。
 上記では当該株式分割が2012年3月期の期初に行われたと仮定して算出しております。

() 普通配当の配当性向

成長戦略

ロボットメーカーとしての躍進

ロボット開発
を支える

FUJI Robo Components

リニアモーター・
ロボットシステム等
外販化

ロボット技術で新しい価値を創造



電子部品実装ロボット
(ロボティックマウンター)



半導体製造装置

工作機械

(ロボット搬送システム)



IoT

スマートファクトリー

生産の自動化

高精度

生産性

コアテクノロジー

解析技術

モーション
コントロール
技術

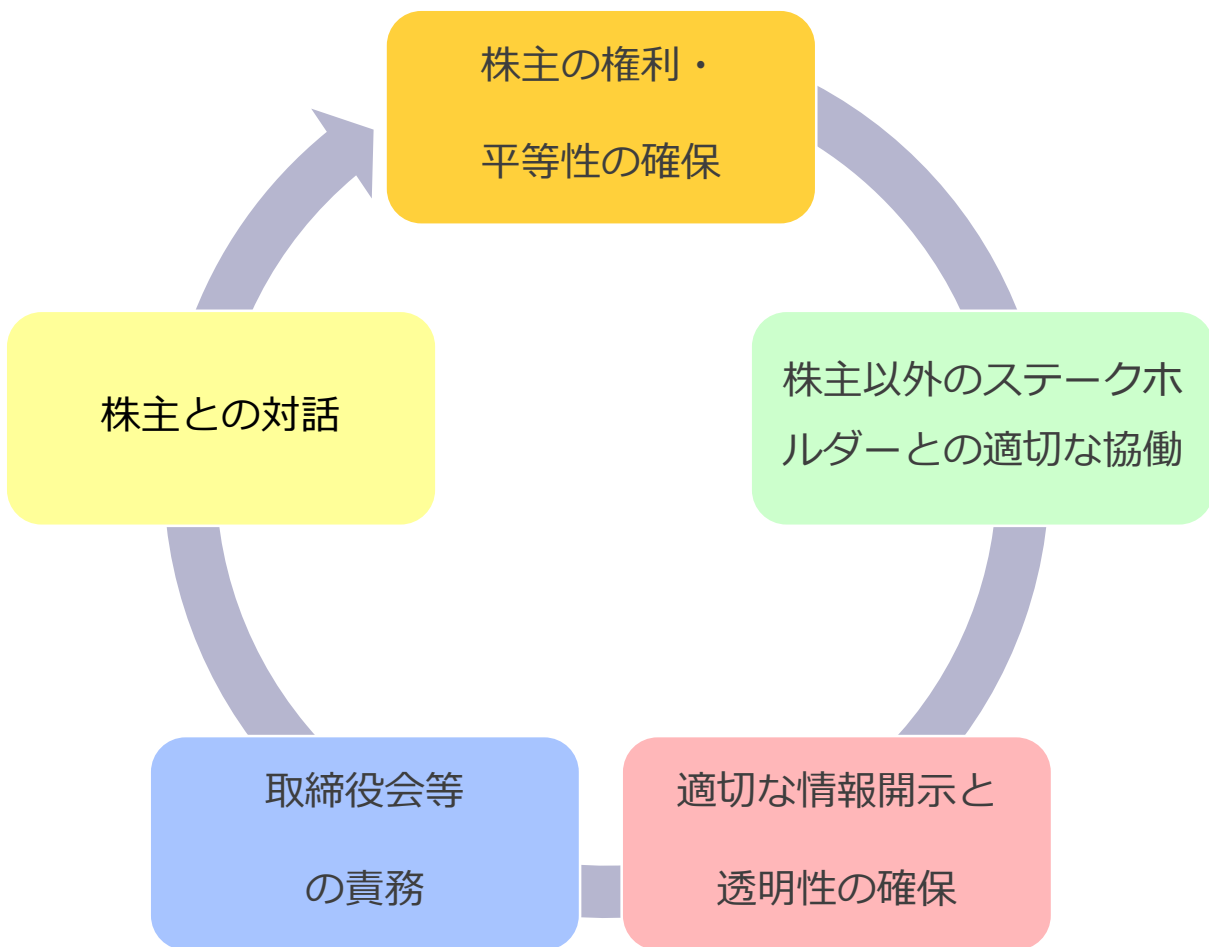
ビジョン
技術

効率的な資金活用による迅速な施策実現

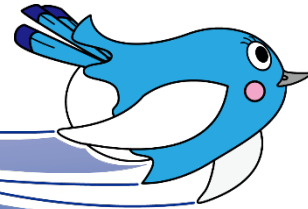
- ・販売力強化 ・研究開発 ・M&A
- ・技術提携 ・モノづくりアライアンス ・資本参加

コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、
企業価値の向上を目指してまいります。



1. 株主の権利・平等性の確保
 - ・ 英文開示の充実
 - ・ 招集通知の発送前電子開示
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
 - ・ 女性の活用を含む社内での多様性の確保
 - ・ 取引先・地域社会との絆
 - ・ 生き生きと働ける活力ある職場づくり
3. 適切な情報開示と透明性の確保
 - ・ コーポレートガバナンス報告書等への開示
 - ・ ホームページでの適切かつタイムリーな情報開示
4. 取締役会等の責務
 - ・ 取締役会の迅速な意思決定と業務の執行機能による経営のスピード化と責任の明確化
 - ・ 独立社外取締役の活用
5. 株主との対話
 - ・ IR説明会開催、SR面談の随時対応



FUJI robots lead the way

ロボットで未来を拓くFUJI

【本資料お取扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果があります。

株式会社 F U J I